**鳥羽市海洋教育フォーラム傍聴について**

2月17日、鳥羽市海洋教育フォーラムを同窓会事務局が傍聴してきましたので、紹介させていただきます。

主催　鳥羽市教育委員会、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター

日時　2014.2.17　第1部鳥羽市における海洋教育の実践事例と可能性　１３：４５～１５：４５

　　　　 　　　　第2部質疑応答～学校教育を活かすために～　　　　１５：５５～１６：３５

場所　鳥羽商工会議所会議室

出席者　鳥羽地区の小学校、中学校の先生　約15名

　　　　教育委員会関係者　　　　　　　　約15名

　　　　企業関係者　　　　　　　　　　　約10名

　　　　官庁関係者　　　　　　　　　　　約10名　　　合計約50名

経緯と目的

海洋基本計画なるものが平成25年4月26日に閣議決定された。

同内容は、「海洋教育の充実及び海洋に関する理解の増進」と題するもの。

閣議決定された内容を実現するため、今現在、地域が行っている海洋に関する教育活動を各業界が紹介し、産学官連携のネットワークづくりを通じて、地域の特色を活かした人材の育成を推進することを一つの目的としている。

今回のフォーラムは全国に先駆けて行われたもので今後行われる全国海洋教育サミットの縮小版である。

内容

1. 鳥羽商船高等専門学校・・商船学科長　石田　邦光先生　→　故郷の海を愛する会を紹介
2. 鳥羽海上保安部・・・・部長　野久保　薫　→　業務の紹介・一般公開の推進
3. 伊勢湾フェリー・・・・業務部課長　片山　剛　→全日本海員組合主催の伊勢湾発見体験クルーズの紹介
4. ミキモト真珠博物館・・館長　松月　清朗　→　子供達のモチベーションを高めるにはどうするかを紹介
5. 鳥羽水族館・・・・・営業第1部課長　高林　賢介　→　子供達を対象にしたイベント数点を紹介
6. 海島遊民倶楽部・・事業部長　兵藤　智穂　→　エコツアー・子供ガイドの育成について紹介
7. 島の旅社・・・事務局長　山本　加奈子　→　浮島の自然水族館を紹介
8. 海の博物館・・学芸員　平賀　大蔵→磯の生き物観察・アマモの育成・浦村牡蠣の養殖と作業方法を紹介

母校の石田先生が鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部の有志が主体となって活動している「特定ＮＰＯ法人　故郷の海を愛する会」を紹介してくれました。

海洋基本計画「海洋教育の充実及び海洋に関する理解の増進」が昨年4月に閣議決定され、国としてその必要性が認識され、具体的な活動を実施しようとしているようです。

故郷の海を愛する会は5年前から同様の目的で活動していますが、今後の活動に関して、今回のフォーラムに参加された他の団体とコラボするところ多数あり、非常に考えさせられる内容でした。

**フォーラムの写真**



